

10/5・12 地元の梨を給食で満喫
～万田小学校給食試食～



▶年に1度のジャンボナシのデザートに、子どもたちは大喜びでした。

前畑市長や教育委員が万田小学校に出向き、子どもたちと一緒に給食を楽しみました。12日は「デザート梨の日」として、市特産のジャンボナシを提供しました。これは、市学校給食センターが食育の一つとして取り組む恒例行事で、市内の小中学生など6,300人あまりが味わいました。前畑市長が「梨は好きですか?」と尋ねると、子どもたちは「大好き!」「甘くておいしい」と、大きな梨を口いっぱい頬張りながら笑顔で答えていました。

10/13 世界に目を向けつなぐを大切に
～日中国交正常化40周年記念講演会～



▶中学生の代表者たちが、中国での交流体験を発表しました。

荒尾市日中友好促進会議と荒尾市議会日中友好促進議員連盟は、熊本大学で記念講演会を開催しました。中国人留学生や大学生、大学関係者などが出席する中、今年8月に中国上海市を訪れた本市中学生訪問団の報告と、国際政治学者の舩添要一さんによる講演がありました。講演では出席者に、「外国語を学び世界に目を向けよう」「古典などを読んで素養を身に付けよう」「国際交流では個人的なつながりを大切にしよう」というメッセージが贈られました。

10/20 綺麗な海岸で渡り鳥をお迎え
～クリーンキャンペーン～



▶玉名女子高校の生徒や先生たちも一緒に参加しました。

地球環境の保護と保全を全世界に呼びかける活動として、コスモ石油とエフエム熊本がクリーンキャンペーンを蔵満海岸で開催しました。この日は、市内外から大人も子どもも400人あまりが参加し、渡り鳥が安心して飛来できるようにと海岸沿いのごみを拾い集めました。清掃活動の後には、野鳥の観察や金魚すくいなどが行われ、野鳥観察では、参加者が野鳥の会の人たちの解説を聞きながら、羽を休める鳥たちを楽しく観察しました。

10/21 絆の中で生きていることに感謝
～創作ステージ あらお・ありがとう・あしたへ～



▶子どもの誕生は、先の見えない戦時に笑顔を送ってくれました。

今年も市民みんなで創る創作ステージが開催されました。4回目となる今回は、「荒尾市制施行70周年の今 ふりかえる故郷」として、世代の絆と人々の絆の中で荒尾に生きていることの感謝を表現。総勢220人を超える人たちが創ったステージは、0歳から99歳までの人が参加し、およそ700人が観劇しました。フィナーレは、手作りの6千輪の梨の造花が咲き誇る中で200人が大合唱し、大きな拍手に包まれながら幕を閉じました。

10/13 書道パフォーマンスで地域貢献
～荒高書道部が県民会議から表彰～



▶活躍の証を手に、来年も頭張ります。前列右から松田さん、部長の林さん、後列右から副顧問の坂下先生、林さん、指山さん。

荒尾高校書道部は、熊本県青少年育成県民会議から、青少年の育成について優れた活動を行い、他の模範となる団体として表彰を受けました。書道展で優秀な成績を収めたことや、地域のイベントなどに多数出演したことが評価されました。同校書道部は現在、1年生6人が所属しています。書道パフォーマンスを行って見える書道を披露する一方、九州や全国などさまざまな展覧会で全員が賞を受けるという快挙も達成しました。これからの活躍が一層楽しみです。

10/15 子どもの晴れ姿で大賑わい
～のぼらさん～



▶子どもたちは記念の晴れ姿を、真にたくさん撮ってもらいました。写真

野原八幡宮の大祭「のぼらさん」が行われ、多くの人々が参拝に訪れました。本市では、全国より1カ月早い七五三としても親しまれています。こののぼらさんでは、市無形民俗文化財「節頭行事」と、県の重要無形民俗文化財「風流」が毎年奉納されます。今年も節頭の祝い唄や風流の笛と太鼓の音が秋の空に響き、訪れた人は伝統芸能の共演に足を止めて見入っていました。境内では、市みどり推進協議会によるヒラドツツジの苗の配布も同時に行われました。

10/26～28 万田坑が幻想的にライトアップ
～D-K LIVE & Hello in 万田坑フェスタ～



▶鮮やかに彩られた万田坑は、多くの人を楽しませてもらいました。

万田坑でD-K LIVEが開催されました。D-K LIVEとは、世界的デジタルアーティストの長谷川章氏が創案したもので、百万枚に及ぶ膨大な画像を無作為に組み合わせることで大きな建物に映し出す光のアートです。映し出された映像は地球の自転の速度で変化し、同じ映像は生きている間には二度と見れないそうです。参加者は「綺麗で素敵」「時間をゆっくり感じられる」など、色鮮やかな万田坑を観ながら幻想的なひとときを楽しみました。



1 Hello in 万田坑フェスタでは、コスプレ参加者やゆるキャラが大集合!ダンスやショーで会場を盛り上げました。2 ステージ前には子どもたちが集まり、一緒に歌ったり踊ったりして楽しめました。3 肥後荒尾さのよい踊り子隊が熱のこもった踊りを披露しました。